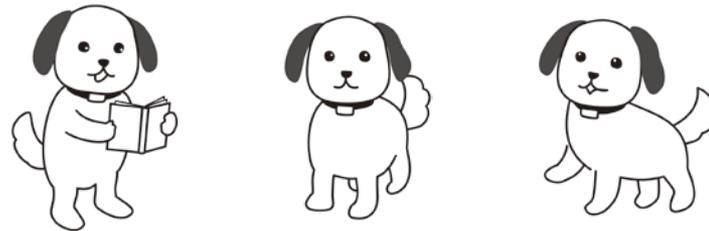


# 逆引きDICOMセミナー

## DICOM規格 詳細 12章 レポート機能



# 12. レポート機能

このスライドは、説明を分かりやすくするため  
逆引き DICOM Book の章立ての順番になっていません

# 12.1 レポートをPACSに保存したい

## DICOMで定義される主なレポートの形式

- **Structured Report (構造化レポート)・・・SR**  
胸部画像、心エコー、X線放射線量など、DICOMで定義したテンプレートに従った形式です。  
モダリティが生成する一般的なレポートの形式です。
- **Encapsulated CDA (カプセル化CDA)**  
HL7 CDA形式のレポートをタグにセットした形式です。
- **Encapsulated PDF (カプセル化PDF)**  
PDF形式のレポートをタグの値にセットした形式です。

## 12.5 レポートに貼ったキー画像を別のシステムに移行できますか

レポートに貼ったキー画像の扱い方法によって移行手段が変わります。

### 1. 画像内蔵型

- 過去のレポートを新しいシステムで表示できれば問題は少ない
- 画像ファイルのフォーマット(JPEG, TIFF等)の変換が必要な場合あり

### 2. 画像参照型

- 画像参照の方式が同じであれば、PACSの画像を利用可能
- レポート自体の移行ができれば、キー画像もそのまま利用可能

ご清聴 ありがとうございます。